

室蘭市海陽小学校(和野忠康校長、502人)と室蘭・海星学院高校(香川謙二校長、210人)の小・高連携を生かした英語交流活動(外国語活動)が14日、同小で開かれた。児童たちは高校生から指導を受けながら楽しく英語を学んでいた。

(石川綾子)

海陽小児童と 海星高生交流

室 蘭

同高校生8人が訪れた。同小6年生100人が「友達を旅行に誘おう」をテーマに学習した。高校生は外国に興味・関心を持って

らうように自分の行ってみたい国の特徴や好きなものを英語で紹介。「韓国の食べ物を食べたい」「サッカーのワールドカップで優勝

したドイツの試合を見てみたい」と話し、児童らは聞き取った単語をメモしていた。

同小の常盤百花さんは「高校生のお兄さん、お姉さんが優しく教えてくれたのでとても楽しかった」と話し、同高2年の藤田命さんは「英語の楽しさを知ってもらいたくて参加しました。分からないことを積極的に質問してくれたのがよかった」と笑顔を見せていた。

同活動は23日にも同小で行われる。

英語って楽しいね



高校生が行きたい国の特徴などを紹介し、英語に親しむ児童たち